

令和5年度 第1回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和5年4月4日（火） 14時00分から15時50分まで

開催場所：第2委員会室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、田中ゼロカーボンシティ担当参事、林健康福祉部長、高山こども・子育て担当参事、清水産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、和泉議会事務局長、秦野教育次長、北澤消防長、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

＜市長＞

- ・部長会議は、国でいうと閣議であり、各部局長は閣僚にあたる。担当分野はそれぞれあるが、広く市としての政策を決めていく会議であることをよく理解していただきたい。自分の担当分野だけではなく、横の連携をしてやっていくことが大事であり、市としてこうでなくてはいけないという視点で意見交換ができる場をしたい。年度が替わり、新しい部長会議の雰囲気となるが、市長の考えを伝える場ではなく、意見を出し合い、市の方向性を決めていく場としたい。ぜひ活発な議論をお願いしたい。

＜副市長＞

- ・昨年度末に多くの退職者があり、10人が交代し、新たに3人の参事を任命した。全体で19人のうち、新任が13人、留任が6人で、フレッシュなスタートとなっている。年齢層も広がったので、みんなでしっかり意見交換をする素地が整ってくるのではないかと期待している。しっかり意見交換ができる部長会議であってほしい。
- ・今回3人の参事の職を作った分野は、それぞれ重要な課題があるということと同時に、部局の枠を超えて、庁内でしっかり連携をし、方向性を定めていく分野である。部長会議として、しっかり積み上げていく。
- ・現在、本部会議や庁内プロジェクトが多くある。今後も文化会館に関するもののように新しく立ち上がってくるプロジェクトもある。部長会議として、しっかり進行管理をしていくことが大事である。
- ・今年度は会計事務等の事務処理の正確性を追求する年にしたい。各部局長も決裁をする時に、思いが至るようにしていただきたい。

＜教育長＞

- ・6日に市内各校で入学式が行われ、新年度がスタートする。コロナ禍で今までできなかった外への活動や、人との関わりといった部分で動きが出てくる。キャリア教育や今まで地域で控えていたことを、全く前のように復活できるかは何とも言えないが、コロナ禍を踏まえた地域連携や横の連携等、新しい活動が出てくると良い。各部局にご協力いただく場合があると思うが、よろしくお願ひしたい。
- ・去年から引き継いで、様々な課題はあるが、政策会議や部長会議でご意見をいただく中で、検討し、良い方向へ持っていけるようにしたい。

2 報告事項

(1) 服務規律の確保等について

◇趣旨

- ・服務規律の確保等について報告する。

(総務部長)

- ・服務規律の確保については、毎年度初めに周知してきた。しかし、昨年度は職員の不適切な事務処理等が発生し、市民の信頼が大きく損なわれた。議会からも重大なこととして、不祥事発生の分析と対策を明らかにするよう指示があり、過日全員協議会で報告をした。初心に立ち返って、もう1度確認をしていただきたい。問題が発生した時には、自分のところはどうかという意識を持ち、自分事として捉え、課長へ確認をしていただきたい。

- ・人の記憶や意識は時間の経過とともに薄れてしまうものである。法令順守、職員倫理、会計事務について繰り返し研修を行っていきたい。職員の出席について、ご配慮いただきたい。
- ・部課長には、仕事だけでなく職員のマネジメント能力も問われる。部下としっかり向き合って対話をし、職員の力を結集することに努めていただきたい。各部局長には服務規律の先にあるものを見据えて、部局をリードしていただきたい。

◇趣旨

- ・飯田市危機事案対応ガイドラインについて報告する。

◇意見

(総務部長)

- ・些細なことを疎かにしないことが大事。些細なことをその時に解決せずに先送りをし、忘れてしまうと、それが積み重なり、大事になってしまう。

◇趣旨

- ・会計事務の適切な実施について報告する。

◇意見

(市長)

- ・代表監査委員から3年にわたって指摘されている内容の対処法は。(会計管理者)
- ・課長又係長が毎月の予算執行状況を確認し、契約を締結したのに負担行為決定額が増えていない状況になっていないかを確認する。契約締結したはずなのに予算執行がされていないという視点を持てば、負担行為漏れは無くなると思っている。

(副市長)

- ・事業執行課と予算執行課が違う部署がある。契約行為や補助金の交付決定の事務手続きは、契約の締結や補助金の交付決定で終わりではなく、支出負担行為の決議まで済んでから始めて、契約手続き、補助金の交付決定手続きが終わったということ。そこは部長がチェックをすること。部長、課長の段階でどこかで必ず契約行為に関わっている。そこまで思いが至るようにすること。このことは会計課ではチェックできず、支出負担行為がおきているかいないは、契約行為をした本人しか分からない。支出負担行為がなされたかどうかは、契約行為や補助金の交付決定をした者が責任を持つしかないので、そこは厳しく見てほしい。

(総務部長)

- ・支出負担行為の失念がないことは大事なことだが、3年にわたって指摘を受けている。これだけ言っても忘れてしまう。今回「なぜなぜ分析」を行った。そういう事案が発生した場合は、その職場で「なぜなぜ分析」を行うと良い。財政課と人事課は実際に分析をしているので、示唆できる。

◇趣旨

- ・公用車の事故防止対策及び飲酒運転根絶の取組について報告する。

◇意見

(議会事務局長)

- ・飲酒運転について、各職場で抑止力のひとつとして宣誓がある。果たして本当に抑止力になっているのか。(企画部長)

- ・交通安全の宣誓書を作成した後、そのままになっている。ミスがなくて当たり前の状態をどう作っていくか。忘れてたり慣れたり思いこんだりするものを、定期的に見直していく取組を考えていかないといけない。

(市長)

- ・宣言書は毎年更新しているのか。

(企画部長)

- ・毎年更新している。

(2) 令和5年度飯田市予算執行方針について

◇趣旨

- 令和5年度飯田市予算執行方針について報告する。

(3) 組織目標と進行管理について

◇趣旨

組織目標と進行管理について報告する。

(4) 庁議等における事務の進め方について

◇趣旨

庁議等における事務の進め方について報告する。

◇意見

(市長)

- ・ 案件や状況により、市長、副市長への相談は随時受けていく。
- ・ 政策会議で方針を定め、部長会議で議論をするが、必ずしも部長会議が最終決定ではない。部長会議での議論を踏まえて、最後に起案で決めるという流れである。部長会議にはそういうつもりで臨んでいただきたい。

(企画部長)

- ・ 政策会議で方針が決定された案件についても、最終的には起案をすること。

3 その他、連絡事項

4 閉会